

### 3D建築積算システム販売40周年で2割引きキャンペーン

日積サーベイ(大阪市中央区、生島宣幸社長)は、6月1日から3D建築積算システムの新バージョン「ヘリオス2021」を特別価格で販売する。ヘリオスの販売開始から40年がたち、記念キャンペーンの一環で通常価格の2割引きで提供する。新バージョンは国際標準のファイル形式(IFC)を介さず、必要な情報を絞り込んで積算する新機能を付加。27日にはオンライン形式のセミナーも開く予定。キャンペーンは11月30日まで。

ヘリオス2021は、福井コンピュータアーキテクト(福井県坂井市、佐藤浩一社長)が販売するBIM支援システム「GLOOBE Architect(グローブ・アーキテクト)」と直接連携できるようにした。IFCが不要で、従来よりも変換回数が大幅に減るなど業務効率の向上につな

る。IFCではできなかった建具のガラスや階段といった幅広い積算を可能にする。

販売価格(税抜き)は構造積算セットが110万円(仕上げ積算セットは75万円)から。キャンペーン期間中はセット価格の2割引きで提供する。27日には新機能を解説するセミナーも開く予定。販売を担当する子会社のバル・システム(大阪市中央区、生島社長)が、ホームページ(HP)でセミナー参加者の募集も行っている。

詳細はバル・システムのHP(<http://www.val-system.co.jp>)へ。

日積サーベイ

### 27日に新機能解説セミナー